

## カラマツマダラメイガ

7月頃にカラマツの葉を糸でつづって食べるイモムシ（幼虫）。最大長約14mm。体は黄緑色から茶色で背中には多数の暗い縦縞と黒い斑点がある。頭は黄土色、茶色の複雑な縞模様がある。

本州では害虫とされる。北海道にも分布するが、ミズナラを食べており、カラマツでの発生記録はない。

【学名】 *Cryptoblabes lariciana*

【分類】 チョウ目 (Lepidoptera) , メイガ科 (Pyralidae)

【分布】 北海道, 本州.

### 【生態】

宿主：カラマツ, ミズナラ.

本州では年1世代らしく、成虫は5月下旬～7月上旬に出現、幼虫は8～9月に出現、9月下旬に蛹になりそのまま越冬するといわれている。北海道では7月上旬に幼虫が採れており、飼育したところ成虫が7月末～8月初めに羽化している。北海道産のものは宿主や生態がかなり異なるので分類学的検討が必要と思われる。

### 【文献】

1984. 鈴木重孝, 駒井古実. 北海道における針葉樹を摂食する小蛾類. 北海道林業試験場研究報告, 22: 85-129. (形態, 生態) .

北海道立林業試験場・緑化樹センター

カラマツマダラメイガ meiga/karamada/  
kaisetu.htm

「文章」 原秀穂, 北海道立林業試験場, 2001/12/26.